

## 「考えたい!」「説明したい!」という思いを大切にした算数の授業

①大和小 田中 優輔 笹島小 高木 健志 橘小 楠見 圭悟

穂波小 石橋 俊太郎 比良小 大島 大樹

### 1 研究のねらい

私たちは、児童の「考えたい!」「説明したい!」という思いを大切にした算数の授業をしたい。「考えたい!」とは、必要感をもって問題解決に取り組んだり、様々な考えに触れながら自分なりに考えを進めようとしたりする児童の姿である。「説明したい!」とは、他者と考えを伝え合うことで考えを整理したり広げたりしようとする児童の姿である。

しかし、本グループの学級の児童は、初めて解く問題に対してどうにか解き切ろうという意志が感じられなかったり、学習理解度の高い児童が戸惑っている児童に教えようとする姿があまり見られなかったりする。また、自分の考え方にこだわりがあり、他者の考えを受け入れなかったりする姿も見られた。これは、問題のレベルや場面設定が児童の興味を引くものでなかったり、言葉や図で考えることに困難を感じたりしていることが原因であると考えられる。また、自分とは違う考え方のよさを分かろうとしなかったり、答えさえ合っていればいい、問題を解いたらそれで終わりと考えていたりすることも原因であると考えられる。

そこで、本研究では、次のような手立てを講じることで、「考えたい!」「説明したい!」という児童に迫るようにしたい。

### 2 研究の手立て

#### 手立て① 「考えたい!」という思いを引き出すための工夫

児童の興味のある場面や日常の場面を想起させて問題提示の工夫をしたり、自分の理解度を把握するためにループリックを活用したりする。そうすることで、必要感をもって問題解決に取り組んだり、自分の学習理解度に合った問題に取り組んだりして、「考えたい!」という思いを引き出すことができるようにする。

#### 手立て② 自分の考えを整理させるための工夫

学習者用タブレット端末に数図ブロックや数え棒等のデジタル教具を用意する。そうすることで、考えを表現することが難しい児童も、必要に応じて教具を選択し、言葉や図で自分の考えを整理することができるようにする。

#### 手立て③ 「説明したい!」という思いを引き出すための工夫

数学的な見方・考え方をキーワード化して提示したり、グループの構成を工夫した児童同士で考えを説明し合うグループ学習の場を設定したりする。そうすることで、数学的な見方・考え方や様々な考えに着目したり、様々な考えに触れたりして、「説明したい!」という思いを引き出すことができるようにする。

#### 手立て④ さらに「考えたい!」「説明したい!」という思いを引き出すための工夫

「早い、簡単に、正確、どんな時も」のように観点を示して自分がよいと思う考え方を選ばせたり、自分のもっと知りたいと感じたことや、おもしろいと感じたことを一枚のポートフォリオにまとめ、追及する活動に取り組ませたりする。そうすることで、もっと「考えたい!」という思いや自分の考えたことを「説明したい!」という思いを引き出すことができるようにする。